

下水道政策研究委員会 脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会

スケジュール案

第一回 令和3年10月1日（金）15：00～17：00

- 検討スケジュールと議論の進め方について
- 脱炭素社会実現へ貢献するため下水道が目指すべき方向性について
- 2030年温室効果ガス排出削減目標の達成に向けた取り組みについて

第二回 令和3年10月○日（ ）10：00～12：00

- 取り組み事例の紹介及び今後検討すべき施策に関する意見又は提案
 - ・地方公共団体
 - ・関係事業者団体
 - ・関係公的機関

第三回 令和3年11月○日（ ）10：00～12：00

- 創エネ・再エネの取り組み及びそれらの地域連携を促進する方策について
- 省エネやN2Oの排出削減を促進する方策について
- 民間活力や経済的手法の活用など海外諸国における取り組み事例について

第四回 令和3年12月○日（ ）10：00～12：00

- 脱炭素化を促進するための技術開発や本邦技術による国際貢献について
- 当面及び中長期に取り組むべき施策と進捗管理について
- 報告書骨子について

第五回 令和4年2月○日（ ）10：00～12：00

- 報告書とりまとめ

脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会における主な論点案

1. 人口減少等の下水道を取り巻く環境を踏まえた上で、脱炭素社会に貢献するための下水道の在り方（創エネ、再エネ、省エネ、N₂O削減の基本的考え方）はどのようにあるべきか。
2. 脱炭素社会に貢献するための下水道事業における取り組みは、2030年及び2050年に向かってどのように進めていくべきか。
3. まちづくりや防災、他分野における取り組みとの連携など、下水道における創エネ・再エネの取り組みをより一層拡大するためにはどのような取り組みを行うべきなのか。
4. 施設の老朽化が進む中、省エネやN₂Oの排出削減を効率的に行うためにはどのような取り組みを行うべきなのか。
5. 下水道におけるカーボンニュートラルの取り組みについて、本邦技術活用や他国との協力・連携など国際的にどのように貢献していくべきなのか。